

警察官の増員等について

【担当省庁】国家公安委員会、警察庁

京都府の治安情勢は、刑法犯認知件数が減少するなど改善傾向にあるものの、府民生活に大きな不安と脅威を与える事件が相次ぐなど、依然として厳しい情勢にあります。

つきましては、府民の治安に対する不安を払拭し、治安再生に向けた取組を一層強化するため、警察官の増員等を要望します。

警察庁の概算要求

警察基盤の充実強化 379億円

依然として厳しい治安情勢や大量退職時代の到来に的確に対処するため、装備資機材・警察施設の整備、警察活動基盤を充実するための施策等を推進するとともに、必要な地方警察官等を増員し、人的基盤の強化を図る。

- ・地方警察官の増員 増員数626人
- ・装備資機材・警察施設の整備充実 373億円



京都府からの要望

1 サイバー犯罪捜査員の増員等

インターネット上に氾濫する違法・有害情報の発信者端末等の情報から被疑者を特定・検挙するためのサイバー犯罪捜査員を増員するとともに、取締体制の強化に不可欠な捜査用車両の整備充実をお願いします。

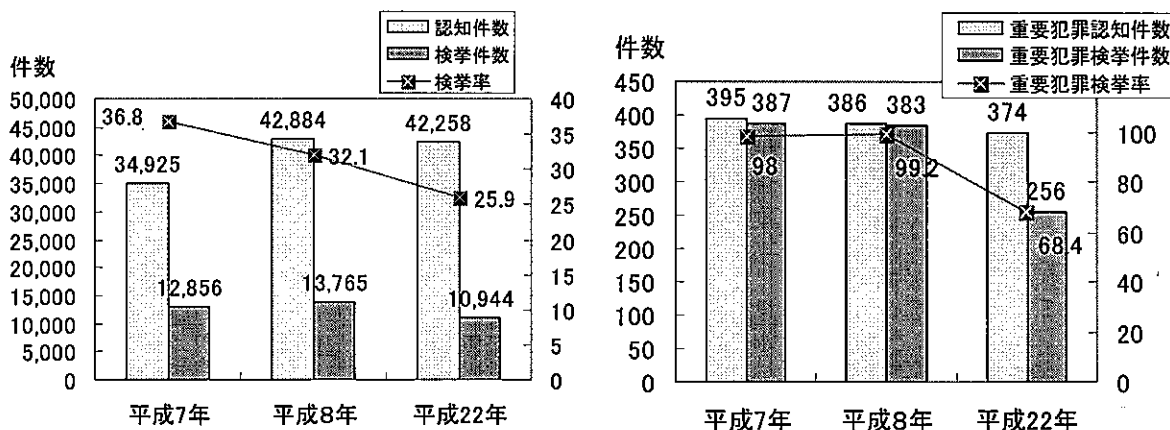
2 検視官等の増員

京都府では、平成22年中は3068件の死体を取り扱い、そのうち検視官が現場に臨場した割合が4割に満たないことから、検視官とその補助者さらに多くの現場に臨場することで、犯罪死の見逃しを防止するため、死因の究明にあたる検視官等の増員をお願いします。

京都府の現状・課題等

○ 依然として厳しい治安情勢（刑法犯認知件数）

刑法犯の認知件数は、平成 8 年から急増し始め、平成 14 年をピークに減少傾向に転じたものの、未だ高水準



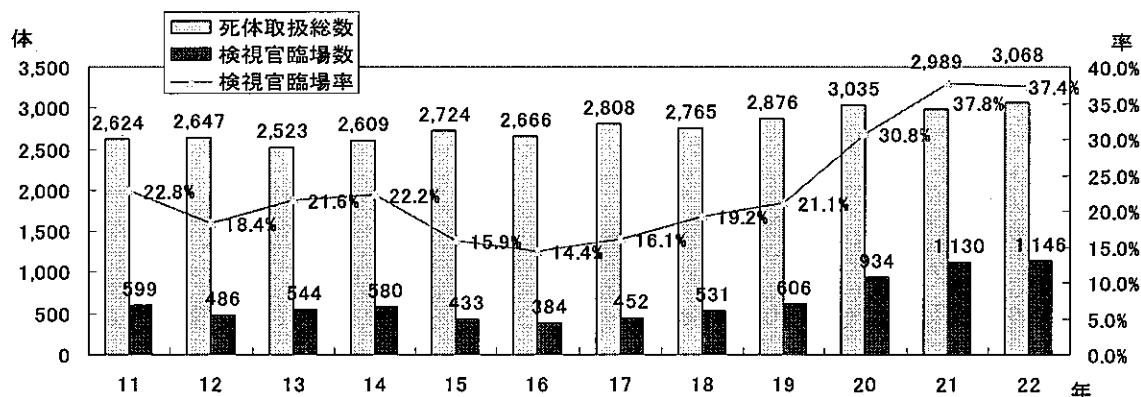
※ 重要犯罪～殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ

○ サイバー犯罪相談件数の推移

年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年		平成 23 年		前年 同期比
				上半期	上半期	上半期		
京都	1,510 件	1,688 件	2,564 件	1,529 件	807 件	—	851 件	+44 件
全国	73,193 件	81,994 件	83,739 件	75,810 件	37,181 件	—	40,643 件	+3,462 件

※ サイバー犯罪～不正アクセス禁止法違反、コンピュータ・電磁的記録対象犯罪、ネットワーク利用犯罪をいう。

○ 死体取扱状況



【京都府の担当部局】

警察本部 総務部会計課 075-451-9111 (内線 2244)
 警察本部 警務部警務課 075-451-9111 (内線 2651)